

全建事発第 062 号

令和 7 年 8 月 28 日

各都道府県建設業協会

専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国建設業協会

専務理事 山崎 篤 男

〔 公 印 省 略 〕

我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について（協力依頼）

平素は本会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、国土交通省より我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について、アンケートの協力依頼がありました。

国土交通省では、建設現場のカーボンニュートラル化を目指し取組を進めていくこととしておりますが、具体的取組を企画立案するにあたっては建設関連企業が有する脱炭素化技術に関する情報が大変に重要としています。

つきましては、下記アンケートを実施されますので、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、貴会会員企業の皆様に対してご周知賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 調査件名

我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について

2. 調査内容

以下の各項目について調査を実施

問 1	建設分野における低炭素化・脱炭素化に資する技術について (会社名、回答者連絡先、対象技術名) (活動量、排出原単位、第三者認証、コスト、課題)
問 2	従来 of 標準的な技術・工法等との比較について (従来技術、活動量、排出原単位、コスト)
問 3	ヒアリングを通じた詳細調査のご協力について
問 4	建設分野における脱炭素化・低炭素化全般についてご意見やご要望

3. 調査期間

令和 7 年 9 月 19 日 (金) まで

(※期限日を過ぎても、5. に記載するウェブサイトは当面、閉鎖せずに開設されており、ご回答できるようになっております。)

4. 配布物

- 00_国交省依頼文書（全建宛て）
- 01_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について（調査依頼）
- 02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】サンプル
- 03_説明書_『RepoBox』によるアンケート回答・提出の仕方
- 04_参考資料_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について（令和6年度調査結果概要）

5. ご回答方法

ご回答者は、アンケート用のウェブサイト『RepoBox』にログインし、アンケート調査票及び記入例（MicrosoftExcel形式）をダウンロードして下さい。

調査票にご記入後、関連資料を添えて、同ウェブサイトアップロードして下さい。

◆アンケート提出先 <https://v2.repobox.jp/>

「RepoBox」は本アンケートの業務委託先：一般財団法人国土技術研究センター（JICE）が運用する調査支援クラウドです。

◆提出コード **DCAC-00001-CWGU6PU**

提出コードは、「RepoBox」にログイン後に入力するものです。

詳しくは、別途の説明書をご覧ください。

『RepoBox』へのログイン、アンケート調査票のダウンロード、アップロードの仕方については、別途の説明書をご覧ください。

インターネットのセキュリティにより、『RepoBox』にアクセスができない場合は、お手数ですが業務委託先にお申し出ください。

また、令和6年度調査に実施したアンケート調査結果の概要を添付します。ご回答の参考にして下さい

6. 問合せ先

本調査依頼の 国交省担当者	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 岡本（おかもと）、研究評価係長 菅野（かんの） 電 話：03-5253-8125
本調査依頼の 問合せ先	業務委託先 一般財団法人国土技術研究センター（JICE） 技術・調達政策グループ 佐々木、山口、水田（ささき、やまぐち、みずた） メール： jice-cn-solution@jice.or.jp 電 話：03-4519-5005

以 上

（担当）事業部 本多
TEL 03-3551-9396
FAX 03-3555-3218
メール jigyo@zenken-net.or.jp

令和7年8月26日

一般社団法人 全国建設業協会 殿

国土交通省大臣官房技術調査課
環境安全・地理空間情報技術調整官

我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について (調査依頼)

平素より国土交通省行政に多大なご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
脱炭素社会の実現は世界的な課題となっており、我が国としても 2030 年度 46%削減、
2050 年カーボンニュートラルの目標実現に向けて取り組むこととしております。

国土交通省としても、建設現場のカーボンニュートラル化を目指し取組を進めていく
こととしておりますが、具体的な取組を企画立案するにあたっては建設関連企業が有する
脱炭素化技術に関する情報が大変に重要となるところです。

つきましては、下記アンケートを実施いたしますので、ご多用の折とは思いますが、
貴団体の会員企業等の構成員各社へご周知のうえ、アンケート調査にご協力いただくよ
う申し添えいただくことについて、よろしくお願い申し上げます。

なお、令和6年度に同様のアンケート調査を実施していますが、今回のアンケート調
査では新たな設問がございますので、貴団体の構成員各社におかれましては、令和6年
度にお答えいただいた脱炭素化・低炭素化技術についても、改めてご回答をお願いする
ところでございます。

記

1. 調査件名

我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について

2. 依頼事項

貴団体の会員企業等の構成員各社へ、以下の4点の資料（PDF形式）を電子メー
ルにより配布し、アンケートの実施についてご周知をお願いします。

- 01_我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について(調査依頼). pdf
- 02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】サンプル. pdf
- 03_説明書_『RepoBox』によるアンケート回答・提出の仕方. pdf
- 04_参考資料_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について（令和6年度調査
結果概要）. pdf

3. 調査期間

令和7年9月19日（金）まで

（※なお、期限日を過ぎても、5. に記載するウェブサイトは当面、閉鎖せずに開設
しておき、ご回答できるようにいたします。）

4. 回答者

貴団体の会員企業等の構成員各社のご担当者

5. 回答方法

構成員各社のご担当者には、本アンケート用のウェブサイト『RepoBox』にログインし、アンケート調査票をダウンロードしていただきます。

調査票にご記入後、関連資料を添えて、同ウェブサイトアップロードしていただきます。

<https://v2.repobox.jp/>

6. その他

本調査依頼の 国交省担当者	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 岡本（おかもと）、研究評価係長 菅野（かんの） 電 話：03-5253-8125
本調査依頼の 問合せ先	業務委託先 一般財団法人国土技術研究センター（JICE） 技術・調達政策グループ 佐々木、山口、水田（ささき、やまぐち、みずた） メール： jice-cn-solution@jice.or.jp 電 話：03-4519-5005

参考：以下の18団体に本アンケートのご協力を依頼しております。

- ・一般社団法人 日本建設業連合会 様
- ・一般社団法人 全国建設業協会 様
- ・一般社団法人 日本建設機械工業会 様
- ・一般社団法人 日本建設機械施工協会 様
- ・一般社団法人 建設電気技術協会 様
- ・一般社団法人 日本道路建設業協会 様
- ・一般社団法人 日本アスファルト合材協会 様
- ・公益社団法人 全国産業資源循環連合会 様
- ・一般社団法人 全国建設発生土リサイクル協会 様
- ・一般社団法人 泥土リサイクル協会 様
- ・一般財団法人 新エネルギー財団 様
- ・一般社団法人 日本橋梁建設協会 様
- ・一般社団法人 セメント協会 様
- ・全国生コンクリート工業組合連合会 様
- ・一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 様
- ・一般社団法人 全国コンクリート製品協会 様
- ・公益社団法人 全国土木コンクリートブロック協会 様
- ・一般社団法人 道路プレキャストコンクリート業協会 様

以上

令和7年8月26日

建設関連企業ご担当者 各位

国土交通省大臣官房技術調査課
環境安全・地理空間情報技術調整官我が国建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について
(調査依頼)

平素より国土交通省行政に多大なご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

脱炭素社会の実現は世界的な課題となっており、我が国としても 2030 年度 46%削減、2050 年カーボンニュートラルの目標実現に向けて取り組むこととしております。

国土交通省としても、建設現場のカーボンニュートラル化を目指し取組を進めていくこととしておりますが、具体的な取組を企画立案するにあたっては建設関連企業が有する脱炭素化技術に関する情報が大変に重要となるところです。

つきましては、下記アンケートを実施いたしますので、ご多用の折とは思いますが、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、令和6年度に同様のアンケート調査を実施していますが、今回のアンケート調査では新たな設問がございますので、令和6年度にお答えいただいた脱炭素化・低炭素化技術についても、改めてご回答をお願いいたします。

記

1. 調査件名

我が国の建設関連企業の有する脱炭素化・低炭素化技術について

2. 調査内容

以下の各項目について調査を実施

問1	建設分野における低炭素化・脱炭素化に資する技術について (会社名、回答者連絡先、対象技術名) (活動量、排出原単位、第三者認証、コスト、課題)
問2	従来の標準的な技術・工法等との比較について (従来技術、活動量、排出原単位、コスト)
問3	ヒアリングを通じた詳細調査のご協力について
問4	建設分野における脱炭素化・低炭素化全般についてご意見やご要望

3. 調査期間

令和7年9月19日(金)まで

(※期限日を過ぎても、5.に記載するウェブサイトは当面、閉鎖せずに開設しておき、ご回答できるようにいたします。)

4. 配布物

01_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について(調査依頼).pdf←本依頼状

02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】サンプル.pdf

03_説明書『RepoBox』によるアンケート回答・提出の仕方.pdf

04_参考資料_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について(令和6年度調査結果概要).pdf

5. ご回答方法

ご回答者は、アンケート用のウェブサイト『RepoBox』にログインし、アンケート調査票及び記入例（MicrosoftExcel形式）をダウンロードして下さい。

調査票にご記入後、関連資料を添えて、同ウェブサイトアップロードして下さい。

◆アンケートの入手先及び提出先 <https://v2.repobox.jp/>
「RepoBox」は本アンケートの業務委託先：一般財団法人国土技術研究センター（JICE）が運用する調査支援クラウドです。

◆提出コード **DCAC-00001-CWGU6PU**
提出コードは、「RepoBox」にログイン後に入力するものです。
詳しくは、別途の説明書をご覧ください。

『RepoBox』へのログイン、アンケート調査票のダウンロード、アップロードの仕方については、別途の説明書をご覧ください。

インターネットのセキュリティにより、『RepoBox』にアクセスができない場合は、お手数ですが業務委託先にお申し出ください。

また、令和6年度調査に実施したアンケート調査結果の概要を添付します。ご回答の参考にして下さい。

6. 問合せ先

本調査依頼の 国交省担当者	国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 岡本（おかもと）、研究評価係長 菅野（かんの） 電 話：03-5253-8125
本調査依頼の 問合せ先	業務委託先 一般財団法人国土技術研究センター（JICE） 技術・調達政策グループ 佐々木、山口、水田（ささき、やまぐち、みずた） メール： jice-cn-solution@jice.or.jp 電 話：03-4519-5005

参考：以下の18団体の会員企業等に本アンケートのご協力を依頼しております。

- ・一般社団法人 日本建設業連合会 様
- ・一般社団法人 全国建設業協会 様
- ・一般社団法人 日本建設機械工業会 様
- ・一般社団法人 日本建設機械施工協会 様
- ・一般社団法人 建設電気技術協会 様
- ・一般社団法人 日本道路建設業協会 様
- ・一般社団法人 日本アスファルト合材協会 様
- ・公益社団法人 全国産業資源循環連合会 様
- ・一般社団法人 全国建設発生土リサイクル協会 様
- ・一般社団法人 泥土リサイクル協会 様
- ・一般財団法人 新エネルギー財団 様
- ・一般社団法人 日本橋梁建設協会 様
- ・一般社団法人 セメント協会 様
- ・全国生コンクリート工業組合連合会 様
- ・一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 様
- ・一般社団法人 全国コンクリート製品協会 様
- ・公益社団法人 全国土木コンクリートブロック協会 様
- ・一般社団法人 道路プレキャストコンクリート業協会 様

以上

我が国の建設分野における脱炭素化・低炭素化技術 に関するアンケート

本調査は、国土交通省大臣官房技術調査課の委託を受け、一般財団法人国土技術研究センターが実施するもので、我が国の建設関連企業が有する脱炭素化・低炭素化技術（材料、機械、工法、管理方法等）について調査を行うものです。

※ 調査：設計・測量・施工・維持管理・工期管理・労務安全等、さまざまな分野で活用している技術や構
造
※ 何
ル
【
※ 令
で
※ 排
と
算
＝

これはアンケート調査票のサンプルです。

アンケート用のウェブサイト『RepoBox』にログインし、調査票
及び記入例（Microsoft Excel形式）をダウンロードして下さい。

<https://v2.repobox.jp/>

【単位数値当り増加費用（円/m³）】（※m³は坪や個などその他の単位にも変更可）

問1 建設分野における低炭素化・脱炭素化に資する技術について

問1-1 対象技術及び回答者様についてお答え下さい。【記入必須】

■ 対象技術の名称

①技術を保有又は開 発した会社名		※必須
②対象技術の名称		※必須
③NETIS登録番号 （登録している場合）		

④については、ワークシート「産業連関表コード」を参照して、対象技術について産業連関表の該当する細項目の産業コード番号（10桁）及び分類名称を記入して下さい。

④産業連関表の 産業コード・分類名 称	産業コード （10桁の英数字） ※ワークシート「産業連関 表コード」G列参照	細項目の分類名称 ※ワークシート「産業連関表コード」H列参照	※必須

※参考として、代表的な脱炭素・低炭素技術について、産業連関表の産業コードと分類名称の記載例を示します。

	脱炭素化・低炭素化技術の例	⇒	産業コード （10桁の英数字）	細項目の分類名称
例	低炭素型コンクリート（生コンクリート）	⇒	2521021001	生コンクリート
例	低炭素型コンクリートブロック	⇒	2521031206	土木用コンクリートブロック
例	低炭素型地盤改良材（高炉セメントC種）	⇒	2521011103	高炉セメント
例	バイオディーゼル燃料（混合油ではない場合）	⇒	2081011202	硬化脂肪酸
例	電気（太陽光発電）	⇒	4611030001	電気（水力、地熱、太陽光、風力等）
例	グリーンステール鉄筋 D32	⇒	2621011801	小形鉄筋用棒鋼
例	中温化アスファルト混合物	⇒	2121021101	アスファルト舗装混合材、タール舗装混合材（アスファルトブロック、タールブロックを含む）

■ 回答者の情報 ※担当者が複数名の場合は窓口となる代表者を回答者として記入して下さい。

⑤回答者の会社名		※必須
⑥部署		※必須
⑦お名前		※必須
⑧電話番号		※必須
⑨Emailアドレス		※必須

問1-2 当該技術は、次のa～iのうち、どの分類に当てはまりますか。【複数選択可】

分類		選択
a	脱炭素・低炭素建設材料（例：代替材料の活用、低炭素型コンクリート、低炭素舗装等）	☐
b	CO2を吸収もしくは固定し、排出量をマイナス（ネガティブ）にする建設材料（例：カーボンネガティブコンクリート等）	☐
c	脱炭素・低炭素建設機械（例：低炭素型建設機械、電動建設機械、代替燃料等）	☐
d	工期短縮や生産性向上のための技術（例：自動・自立施工、工期短縮・効率化、施工効率化等）	☐
e	運搬量・時間・燃料の削減につながる技術（例：現場発生品の削減、土砂運搬マネジメント、燃料消費削減、燃料消費モニタリング、運搬材料の量・重量の削減等）	☐
f	維持管理・運営の低炭素化のための技術（例：ZEH・ZEB関連技術、構造物の長寿命化・高耐久化、維持管理・点検に伴う作業の低炭素化等）	☐
g	廃棄物削減に関する技術（例：建設汚泥・建設廃棄物の再利用、建設汚泥・建設発生土の抑制・縮減、他産業の廃棄物の利活用等）	☐
h	低炭素化に資するような工期・工程監理ソリューション（例：低炭素施工システム、工事工程管理システム等）	☐
i	その他の技術 ※①で具体的に記入して下さい	☐

問1-2① 「i その他の技術」と回答された方に伺います。

a～hの分類の例に倣い、当該技術の概要を記入して下さい。【自由記入】

問1-3 当該技術の内容の理解を助ける写真やイラスト、図表（公表可能なもの）等があれば、本回答ファイルとともにRepoBoxにアップロードして下さい。各ファイル～5M程度をお願いします。【任意回答】

ファイル名	内容
(例) サンプル.docx	製品パンフレット

問1-4 当該技術は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のグリーンイノベーション基金事業として、開発された技術ですか。【単一選択】

番号	内容
a	はい
b	いいえ

番号を選択

問1-5 当該技術の開発状況を教えてください。【単一選択】

番号	内容
a	開発終了
b	開発中

番号を選択

問1-5① 「b.開発中」と回答された方にお伺いします。

開発終了日処を教えてください。【単一選択】

番号	内容
a	1年以内
b	3年以内
c	3年以上

番号を選択

問1-6 当該技術の施工・活用実績（国内外を問いません）はありますか。【単一選択】

番号	内容
a	10件以上の施工・活用実績がある
b	10件未満の施工・活用実績がある
c	まだ施工・活用実績はなく研究開発を進めている段階

番号を選択

問1-6① a または b と回答された方に伺います。
当該技術の海外での施工・活用実績はありますか。【単一選択】

番号	内容
a	当該技術の海外での施工・活用実績がある
b	当該技術の海外での施工・活用実績はない
c	わからない・無回答

番号を選択

問1-7 一般にCO2排出量は「活動量」×「排出原単位」の式で求めますが、当該の脱炭素化・低炭素化技術について、活動量は何の数量を対象にしていますか。【複数選択可】

	内容	選択
a	燃料使用量	☐
b	電力使用量	☐
c	燃料・材料等の生産量	☐
d	材料使用量	☐
e	廃棄物量	☐
f	その他（生産性等）	☐

問1-7① a～eと回答された方に伺います。
活動量の単位を記入して下さい。（ℓ、kWh、㎡、t等）【複数回答可】

問1-7② fと回答された方にお伺いします。
何の数量を対象として活動量を設定したのか、単位とともに教えてください。【自由記入】

問1-8 当該の脱炭素化・低炭素化技術について、排出原単位をどのようにして設定しましたか。【単一回答】

番号	内容
a	IDEA、産業連関表による環境負荷原単位データブック（3EID）等のデータベースに掲載の排出原単位を用いて設定している。
b	IDEA、産業連関表による環境負荷原単位データブック（3EID）等のデータベースに掲載の排出原単位を加工もしくは複数組み合わせで設定している。
c	自社でCO2排出量を測定もしくは計算して設定している。
d	調達先（建機メーカー、材料メーカー等）から入手した値を用いて設定している。
e	その他

番号を選択

問1-8① 排出原単位の値とその単位を記入して下さい。（例：100t-CO2/ℓ、200t-CO2/kWh、300t-CO2/㎡、400t-CO2/t等）【自由記入】

問1-8② eと回答された方に伺います。
その他の具体的な排出原単位設定方法について教えてください。【自由記入】

問1-9 対象技術における排出原単位の算出結果について、CFP-PCR等の第三者認証の取得有無について教えてください。【単一回答】

番号	内容
a	国内のSuMPO EPDを取得している
b	海外のEPDを取得している
c	その他の制度で第三者認証を取得している
d	第三者認証を取得していない

番号を選択

問1-9① a～cと回答された方に伺います。
第三者認証制度の名称および登録番号を教えてください。

名称	登録番号

問1-9② dと回答された方に伺います。
登録予定はありますか。【単一回答】

番号	内容
a	ある
b	ない
c	検討中

番号を選択

問1-10 排出原単位は、公表可能ですか。【単一回答】

番号	内容
a	はい
b	いいえ

番号を選択

問1-11 当該技術にかかる標準技術からの増加費用を教えてください。【自由記入】
※例 単位数量あたりの増加コスト（●●円/m3）

問1-12 当該技術に地域特有の特徴や課題がございましたら教えてください。【自由記入】
※例「〇〇地方では調達が困難」「〇〇地方では輸送費負担が重く、単価が高額」

問1-13 当該技術の今後の開発、実装等に向けた課題をお聞かせ下さい。【自由記入】

問2 従来の標準的な技術・工法等との比較について

問2-1 問1で回答していただいた脱炭素・低炭素技術は、従来のどのような技術・工法等にかわり脱炭素化・低炭素化するものですか。従来の標準的な技術の名称・規格について教えて下さい。（国土交通省監修の土木工事積算基準書で適用される標準的な技術・工法等）【自由記入】

問2-2 一般にGHG排出量は「活動量」×「排出原単位」の式で求めますが、従来の標準的な技術・工法等では活動量をどのように設定していましたか。【自由記入】

番号	内容
a	国土交通省監修の土木工事積算基準書に基づいて積算された、燃料や材料等の数量を使用して設定している。（例：標準歩掛の単価表における数量や運転時間などを引用して設定）
b	自社で標準的に使用する、燃料や材料等の実数量を使用して設定している。（例：自社の施工実績データから設定）
c	その他

番号を選択

問2-2① cと回答された方に伺います。その他の具体的な設定方法について教えてください。【自由記入】

問2-3 従来の標準的な技術・工法等では排出原単位をどのように設定していましたか。【自由記入】

番号	内容
a	公表されているデータベース等（算定・報告・公表制度における排出係数、電気事業者別排出係数、産業連関表等）に掲載されている値を使用して設定している。
b	排出原単位データベース「IDEA」を購入し、掲載されている値を使用して設定している。
c	自社で単位あたりCO2排出量を測定もしくは計算して設定している。
d	調達先（建機メーカー、材料メーカー等）から入手した値を用いて設定している。
e	その他

番号を選択

問2-3① eと回答された方にお伺いします。具体的に、排出原単位をどのように設定していましたか。【自由記入】

問2-4 従来の標準的な技術・工法等の排出原単位の値とその単位を記入して下さい。
例：100t-CO2/ℓ、200t-CO2/kWh、300t-CO2/m3、400t-CO2/t等）
【自由記入】

問3 今後、国土交通省大臣官房技術調査課（又はその委託を受けた者）によるヒアリング（オンラインとする可能性があります）を通じた詳細調査を行うこととした場合、ご協力いただけますか。【単一回答】

番号	内容
a	協力できる（担当者から連絡させていただく場合があります）
b	協力できない

番号を選択

問4 建設分野における脱炭素化・低炭素化全般について、ご意見やご要望などありましたら、記入してください。（例：技術開発の支援、公共工事における調達・活用・評価、GHG排出量の算定方法、脱炭素化・低炭素化技術のデータベース化など）
【自由記入】

◎ ご回答ありがとうございました ◎

RepoBoxにアップロードして下さい。

※ お答えいただいた内容、写真等については、国土交通省資料に貴社名を付して使用させていただくことがございますこと、あらかじめご承知おき下さい。

※ ※調査結果については、問1～2にてa,bとご回答いただいた個別技術の情報をとりまとめて公表すること又は国土交通省の発注機関（地方整備局等）に情報提供することを予定しております。そのほかの技術については、現時点で個別技術の情報を公表することを予定しておりませんが、今後の関連施策に関する公表資料に調査の集計結果を用いる可能性があること、あらかじめご承知おき下さい。

※ 本調査にてご記載いただいた個人情報は本調査に関する内容確認等のご連絡及び本件に関する国土交通省（又はその委託を受けた者）によるオンラインヒアリング（問4で「協力できる」とお答えくださった方のみ）にのみ使用し、委託者である国土交通省及び受託者である当財団以外の第三者への提供あるいは用途外利用は一切行いません。なお、当財団の個人情報保護方針については、下記の当財団ウェブサイトをご覧ください。

一般財団法人 国土技術研究センター

〈個人情報保護方針〉

<https://www.jice.or.jp/privacy>

我が国の建設分野における脱炭素化・低炭素化技術 に関するアンケート

アンケート用ウェブサイト『RepoBox』 によるアンケートの回答・提出の仕方

<https://v2.repobox.jp/>

令和7年8月

※『RepoBox』は一般財団法人国土技術研究センター（JICE）が運用する調査支援クラウドです。
回答者は、『RepoBox』にユーザー登録してログインする必要がありますが、回答者のパソコンにアプリをインストールものではありません。

手順1 『RepoBox』のURLにアクセスしログインする

手順1-1. インターネットに接続し、次のURLにアクセスして下さい。

<https://v2.repobox.jp/>

手順1-2. 「アプリを起動する」を押して、アプリを起動して下さい。

(回答者のパソコンにアプリをインストールするものではありません。)

手順1-3. ログイン又はユーザー登録をして下さい。

- 初めてRepoBoxを利用する方は、「アカウントを作成する」をクリックして、手順2に進んで下さい。
- RepoBoxを利用したことがある方（ユーザー登録のある方）は、メールアドレスとパスワードを入力しログインして、手順3に進んで下さい。

The diagram illustrates the process of accessing and logging into RepoBox through three sequential steps:

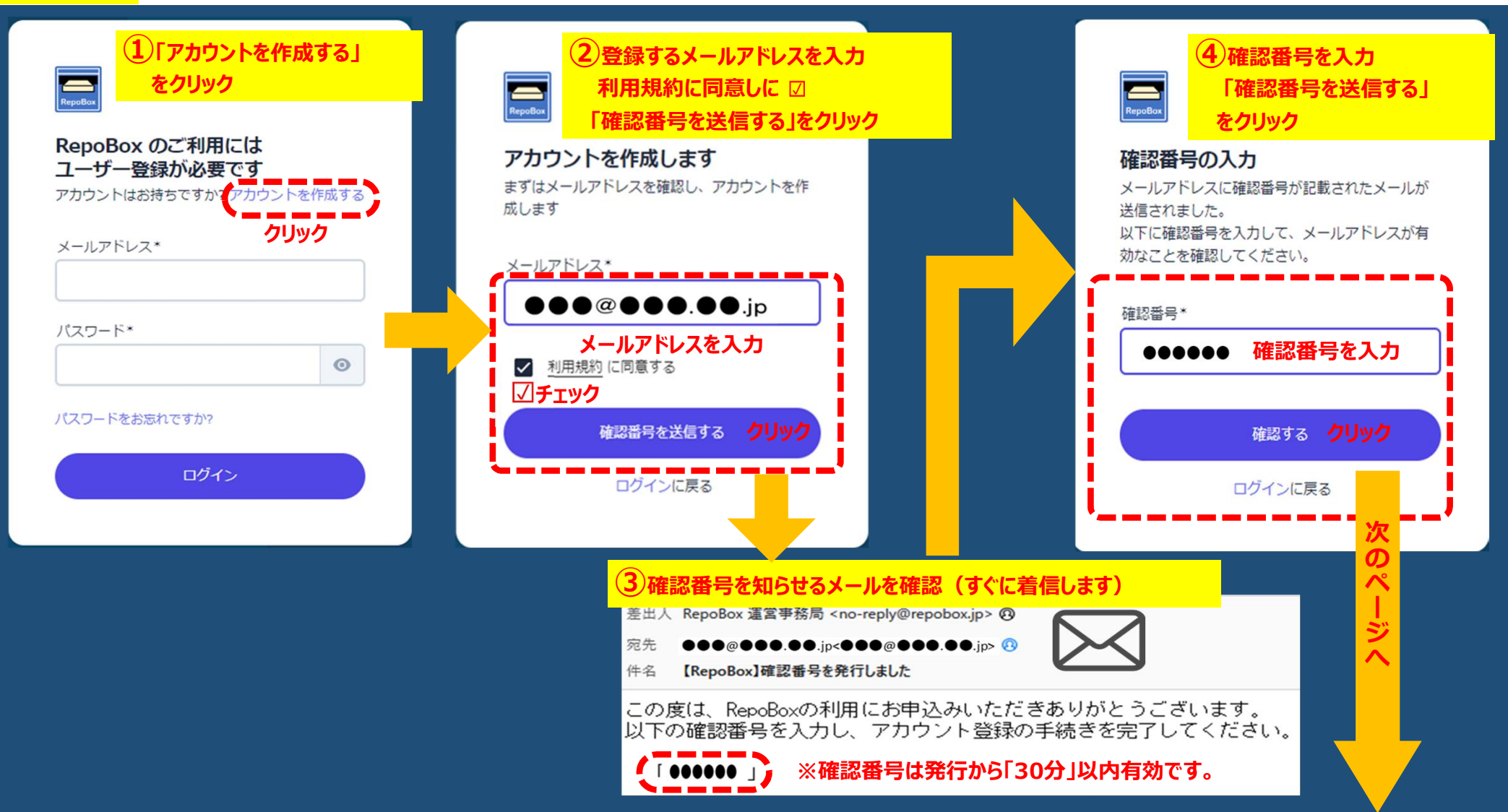
- 手順1-1:** A browser window showing the URL <https://v2.repobox.jp/>. A red dashed box highlights the address bar, and a yellow arrow points down to the next step.
- 手順1-2:** The RepoBox v2.0 landing page. It features the RepoBox logo and the text "RepoBox v2.0". Below this, it states "「RepoBox」は、書類提出のためのクラウドサービスです。". A red dashed box highlights the button labeled "→アプリを起動する", with a red arrow pointing to it and the word "クリック" (Click) written below. A yellow arrow points from this button to the next step.
- 手順1-3:** The login/register page. It displays the RepoBox logo and the text "RepoBox のご利用にはユーザー登録が必要です" (User registration is required for using RepoBox). Below this, it says "アカウントをお持ちですか？" (Do you have an account?). A red dashed box highlights the "アカウントを作成する" (Create account) link, with a red arrow pointing to it and the word "クリック" (Click) written above. Another red dashed box highlights the login fields, including "メールアドレス*" (Email address*), "パスワード*" (Password*), and a "パスワードをお忘れですか？" (Forgot your password?) link. A red arrow points to the "パスワード*" field with the word "クリック" (Click) written next to it. At the bottom, there are buttons for "ログイン" (Login) and "アカウントを作成する" (Create account), with a red arrow pointing to the "ログイン" button and the word "クリック" (Click) written next to it. To the right of the login/register page, there are three yellow boxes with red arrows pointing to the corresponding actions: "初めてRepoBoxを利用する方" (For first-time users), "手順2へ進んで下さい" (Please proceed to step 2), "RepoBoxを利用したことがある方（ユーザー登録のある方）" (For users who have used RepoBox before (users who are registered)), and "手順3へ進んで下さい" (Please proceed to step 3).

手順2 新規アカウントを作成する（初めてRepoBoxを利用する方）

初めてRepoBoxを利用する方は、ユーザー登録して下さい。

手順2-1. メールアドレスを入力し、メールから確認番号を取得して下さい。→①②③④

手順2-1



手順2 新規アカウントを作成する（つづき）

手順2-2. 氏名、組織名を入力、パスワードを作成し、アカウントを作成して下さい。→⑤⑥⑦

手順2-2

⑤ 氏名・組織名・パスワードを入力
利用規約の同意に ☒ チェック
『アカウントを作成する』をクリック



アカウントを作成する

すでにアカウントをお持ちですか? [ログイン](#)

メールアドレス（確認済）*

●●●●@●●●●.●●.jp

氏名*

●● ●● 氏名を入力

組織名*

●●●●●● 組織名を入力

パスワード* ※パスワードは任意で作成して下さい。
英数字や大文字等の制限はありません。

●●●●●● パスワードを作成

パスワード（確認）*

●●●●●● パスワード確認入力

☒ 利用規約 に同意する

☒ チェック

アカウントを作成する **クリック**

最初からアカウントを作成する

⑥ メールアドレスに『【RepoBox】アカウント作成が完了しました』という
メールが届きアカウント作成が完了

差出人 RepoBox 運営事務局 <no-reply@repobox.jp>

宛先 ●●●●@●●●●.●●.jp<●●●●@●●●●.●●.jp>

件名 【RepoBox】アカウント作成が完了しました

この度は、RepoBoxの利用にお申込みいただきありがとうございます。
お客さまがログインする時に必要な情報は以下のとおりです。大切に保管してください。

メールアドレス：●●●●@●●●●.●●.jp

パスワード：（作成時に指定）

⑦ ログイン画面に戻ります。
メールアドレスとパスワードを
入力してログイン



RepoBox のご利用には ユーザー登録が必要です

アカウントはお持ちですか? [アカウントを作成する](#)

メールアドレス*

メールアドレスを入力

パスワード*

パスワードを入力

パスワードをお忘れですか?

ログイン **クリック**

完了

手順3 マイページで提出コードを入力する

手順3-1. ログインするとマイページに移行します。
「提出コードを入力し、新しいタスクに参加する」を押して下さい。→①

手順3-2. 「提出コード画面」に移行します。提出コードを入力して下さい。
本アンケート調査で使用する提出コードは、**DCAC-00001-CWGU6PU** です。→②

「タスクに参加する」をクリックして下さい。→③

英字は半角大文字

半角数字のゼロ

手順3-3. 「成功」の画面が出たことを確認し、「OK」を押して下さい。→④

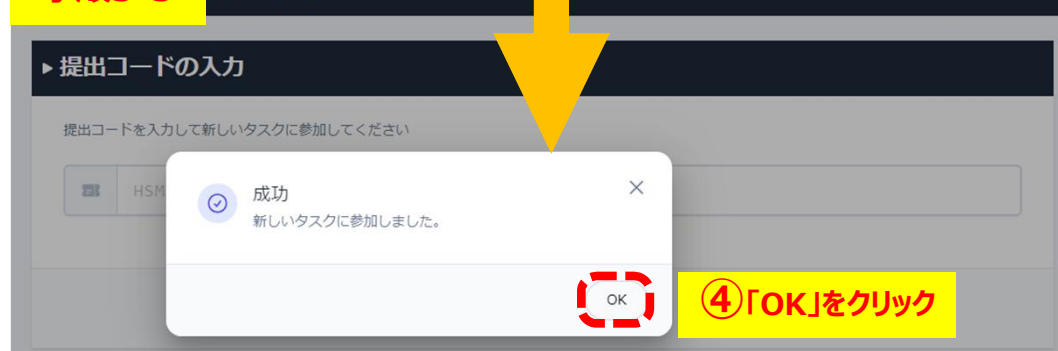
手順3-1



手順3-2



手順3-3



手順4 配布ファイルをダウンロードする

手順4-1. 提出メニューに移行します。

タスク名「R7_脱炭素化技術アンケート」をクリックして下さい。

このとき、提出ステータスは「未提出」です。→①②

手順4-2. 「提出タスク要項」画面で、配布ファイルの ☁ マークをクリックしてダウンロードして下さい。→③④

手順4-1

タスク名	依頼元 提出コード	稼働	公開日 参加日	提出ステータス	コメント	処理
R7_脱炭素化技術アンケート	国土交通省大臣官房技術調査課 DCAO	稼働中		未提出	1	▼

①クリック

②提出ステータスは
「未提出」であることを確認

手順4-2

提出メニュー > 提出タスク一覧 > R7_脱炭素化技術アンケート

管理者に質問する

現在の提出ステータス

未提出

提出作業
1~4の順に提出作業を進めてください

提出タスク要項
1 提出内容を確認し配布ファイルを取得してください

↓

基本情報入力
2 提出に必要な情報を確認・入力してください

↓

提出ファイル
3 提出するファイルをアップロードしてください（何度も差替えも可能）

↓

提出する
4 この作業が完了する場合は、提出してください

質問・メッセージ
この提出に関する質問の送信、管理者からのメッセージを確認できます。

アクティビティログ
この提出に関する操作履歴を確認できます

提出タスク要項

1 提出タスク要項 および 配布ファイルの内容を確認し、次へ進んでください。

タスク名:
R7_脱炭素化技術アンケート

依頼元:
国土交通省大臣官房技術調査課

説明:
平素より国土交通省行政に多大なご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
脱炭素社会の実現は世界的な課題となっており、我が国としても 2030 年度 46%削減、2050 年カーボンニュートラルの目標実現に向けて取り組むこととしております。国土交通省としても、建設現場のカーボンニュートラル化を目指し取組を進めていくこととしておりますが、具体的な取組を企画立案するにあたっては建設関連企業が有する脱炭素化技術に関する情報が大変に重要となるところでございます。
つきましては、下記アンケートを実施いたしますので、ご多用の折とは思いますが、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、令和6年度に同様のアンケート調査を実施していますが、今回のアンケート調査では新たな設問がございますので、令和4年度にお答えいただいた脱炭素化・低炭素化技術についても、改めてご回答をお願いいたします

詳細につきましては、下記添付資料をご覧ください。

配布ファイル

ファイル名	サイズ	初回アップロード日時	最終アップロード日時	処理
01_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について（調査依頼）.pdf	75 KB			☁
02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】会社名_通し番号.xlsx	33 KB			☁
03_説明書_『RepoBox』によるアンケート回答・提出の仕方.pdf	1.7 MB			☁
04_参考資料_我が国建設関連企業の有する脱炭素化技術について（令和6年度調査結果概要）.pdf	450 KB			☁
05_1【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】回答例1.pdf	235 KB			☁
05_2【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】回答例2.pdf	237 KB			☁

↑ 前へ 1/4 次へ ↓

③雲マークをクリックして
配布ファイルをダウンロード

④「次へ」をクリック

手順5 エクセルファイルを開いて回答を記入する

手順5. 【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】会社名_通し番号.xlsx を開いて、回答を記入して下さい。

- 脱炭素化・低炭素化に資する技術（材料、機械、工法、管理方法等）についてお答えください。調査・設計、測量、施工、維持管理、工程管理、労働安全等、どのようなプロセスで用いる技術でも構いません。
- 何件でも回答していただけます。その場合、1件ごとに記入していただくため、お手数ですが、このエクセルファイルを複製して、ファイル名を次のように変更して記入して下さい。

【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】会社名_通し番号.xlsx

↑

↑

貴社名に書き換えて下さい

1番から付番して下さい

- 他の部署・技術者が担当されている脱炭素化・低炭素化技術についても、それぞれに照会していただき回答をお願いします。
- 令和6年度にも同様のアンケート調査を実施しておりますが、新たな設問がありますので、その際に回答していただいた脱炭素化・低炭素化技術についても再度、回答をお願いします。

我が国の建設分野における脱炭素化・低炭素化技術に関するアンケート

本調査は、国土交通省大臣官房技術調査課の委託を受け、一般財団法人国土技術研究センターが実施するもので、我が国の建設関連企業が有する脱炭素化・低炭素化技術（材料、機械、工法、管理方法等）について調査を行うものです。

※ 調査・設計、測量、施工、維持管理、工程管理、労働安全等、どのようなプロセスで用いる技術でも構いません。

※ 何件でも回答いただけます。その場合、1件ごとに記入していただくため、お手数ですが、このエクセルファイルを複製して、ファイル名を次のように変更して記入してください。

【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】会社名_通し番号.xlsx

※ 令和4年度及び令和6年度にも同様のアンケート調査を実施しておりますが、新たな設問がありますので、その際に回答していただいた脱炭素化・低炭素化技術についても再度、回答をお願いします。

※ 排出原単位と費用の質問(問1-8①、問1-11、問2-4)の回答は費用対効果を算定する際の参考とさせていただきます。

算定式) [費用対効果 (円/tCO2eq)]

= [(標準技術の排出原単位 (tCO2eq/m3)] - [脱炭素技術の排出原単位 (tCO2eq/m3)]

/ [単位数量当り増加費用 (円/m3)] (※m3はtや個などその他の単位にも変更可)

問1 建設分野における低炭素化・脱炭素化に資する技術について

問1-1 対象技術及び回答者様についてお答え下さい。【記入必須】

■企業・技術の名称

①会社名		※必須
②対象技術の名称		※必須
③NETIS登録されている場合、NETIS登録番号		

手順6 エクセルファイルをアップロードする

手順6-1. 「基本情報入力」画面で、**会社名、担当者名、部署名**を記入して、**保存**して下さい。→①②③

手順6-2. 「提出ファイル」画面で、**提出するファイルをドロップ**して下さい。→④⑤⑥

- 回答を記入したエクセルファイル：【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】会社名_通し番号.xlsx
- 回答した脱炭素化・低炭素化技術の**写真や図表、パンフレット等の公表可能な資料**

手順6-1

提出メニュー > 提出タスク一覧 > R7_脱炭素化技術アンケート

現在の提出ステータス: 未完成

提出作業: 1~4の順に提出作業を進めてください

提出タスク事項: 1 提出内容を確認し配布ファイルを取得してください

↓

基本情報入力: 2 提出に必要な情報を確認・入力してください

↓

提出ファイル: 3 提出するファイルをアップロードしてください (何度も差替えも可能)

↓

提出する: 4 この作業が完了する場合は、提出してください

質問・メッセージ: この提出に関する質問の送信、管理者からのメッセージを確認できます。

アクティビティログ: この提出に関する操作履歴を確認できます

基本情報入力

⚠ 基本情報を保存し、次へ進んでください。必須項目は必ず入力してください。

Email (編集不可)*
●●●●@●●●●.●●●.jp

会社名*
会社名（貴社名）を入力 ※必須 ①記入する

担当者名*
担当者名（回答者名）を入力 ※必須

部署名（任意）
部署名を入力 ※任意

②「保存する」をクリック

保存する

③「次へ」をクリック

↑ 前へ 2/4 次へ ↓

手順6-2

提出メニュー > 提出タスク一覧 > R7_脱炭素化技術アンケート

現在の提出ステータス: 未提出

提出作業: 1~4の順に提出作業を進めてください

提出タスク事項: 1 提出内容を確認し配布ファイルを取得してください

↓

基本情報入力: 2 提出に必要な情報を確認・入力してください

↓

提出ファイル: 3 提出するファイルをアップロードしてください (何度も差替えも可能)

↓

提出する: 4 この作業が完了する場合は、提出してください

質問・メッセージ: この提出に関する質問の送信、管理者からのメッセージを確認できます。

アクティビティログ: この提出に関する操作履歴を確認できます

提出ファイル

④ 提出するファイルをドロップしてアップロード

ここに提出ファイルをドロップしてください。

複数の調査票を提出する場合は、通し番号をつける

1.70 MB (3.391%) 50.00 MB までアップロード可能

ファイルを差し替えた場合は、再度アップロードしてください。何度も差し替え可能です。

⑤ アップロードするファイルを確認

ファイル名 サイズ 初回アップロード日時 最終アップロード日時 処理

02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】 ●●建設_1.xlsx	48.39 KB			
02_【R7_脱炭素化技術アンケート調査票】 ●●建設_2.xlsx	48.39 KB			
●●コンクリートパンフレット.pdf	1.01 MB			
●●作業専用機.jpg	131.31 KB			
排出削減効果比較表.pdf	474.58 KB			

⑥「次へ」をクリック

↑ 前へ 3/4 次へ ↓

手順7 提出する

手順7-1. 「提出する」画面で、提出内容を確認して、「提出する」をクリックして下さい。→①②

手順7-2. 「提出します」画面が現れるので、「提出する」をクリックして下さい。→③

手順7-1

提出メニュー > 提出タスク一覧 > R7_脱炭素化技術アンケート

管理者に質問する

現在の提出ステータス

未提出

提出作業
1~4 の順に提出作業を進めてください

1 提出タスク要項
提出内容を確認し配布ファイルを取得してください

↓

2 基本情報入力
提出に必要な情報を確認・入力してください

↓

3 提出ファイル
提出するファイルをアップロードしてください (何度も差替えも可能)

↓

4 提出する
この作業が完了する場合は、提出してください。

質問・メッセージ
この提出に関わる質問の送信、管理者からのメッセージを確認できます。

アクティビティログ
この提出に関わる操作履歴を確認できます

1 提出タスク要項 確認する

2 基本情報入力 確認する

3 提出ファイル 確認する

4 提出する

1 以下の内容で提出します。問題なければ、提出して作業を完了してください。

2 確認する

3 提出する

提出する

↑ 前へ 4/4 次へ ↓

手順7-2

提出メニュー > 提出タスク一覧 > R7_脱炭素化技術アンケート

管理者に質問する

現在の提出ステータス

未提出

提出作業
1~4 の順に提出作業を進めてください

1 提出タスク要項 確認する

↓

2 基本情報入力 確認する

↓

3 提出ファイル
提出するファイルをアップロードしてください (何度も差替えも可能)

↓

4 提出する
この作業が完了する場合は、提出してください。

質問・メッセージ
この提出に関わる質問の送信、管理者からのメッセージを確認できます。

アクティビティログ
この提出に関わる操作履歴を確認できます

1 提出タスク要項 確認する

2 基本情報入力 確認する

3 提出ファイル 確認する

4 提出する

1 以下の内容で提出します。問題なければ、提出して作業を完了してください。

2 確認する

3 提出する

提出します
この作業を完了します。よろしいですか？

キャンセル 提出する

3 「提出する」をクリック

提出する

↑ 前へ 4/4 次へ ↓

手順 8 提出ステータスを確認する

手順8-1. 提出ステータスが「提出済」になっていることを確認して下さい。→①
提出内容を変更する場合は、「未提出に戻す」をクリックして下さい。→②
「提出タスク一覧」をクリックすると、手順8-2の画面に移行します。→③

手順8-2. 提出ステータスが「提出済」になっていることを確認して下さい。→④
「マイページ」をクリックすると、ログイン後の画面に戻ります。以上で終わりです。→⑤⑥

手順8-1

① 提出ステータスが「提出済」になっていることを確認

② 提出内容を変更する場合は、「未提出に戻す」をクリック

③ 「提出タスク一覧」をクリックすると、手順8-2の画面に移行

手順8-2

④ 提出ステータスが「提出済」になっていることを確認

⑤ 「マイページ」をクリックすると、ログイン後の画面に戻る

⑥ 以上で終わりです。ご協力有り難うございました。RepoBoxを閉じて構いません

【R6年度】建設分野における脱炭素技術のアンケート調査結果①

■「我が国の建設分野における脱炭素化・低炭素化技術に関するアンケート」を実施。

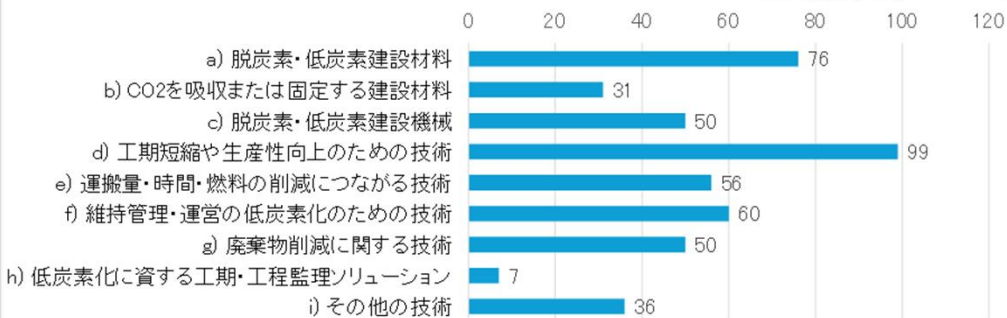
⇒令和6年9～11月までの間に123企業から335件の回答があった。

○低炭素化・脱炭素化技術の分類

- ⇒・「脱炭素・低炭素建設材料」
・「工期短縮や生産性向上のための技術」
に分類される技術が多かった。

低炭素化・脱炭素化技術の分類

[件数,複数回答,N=465/335]

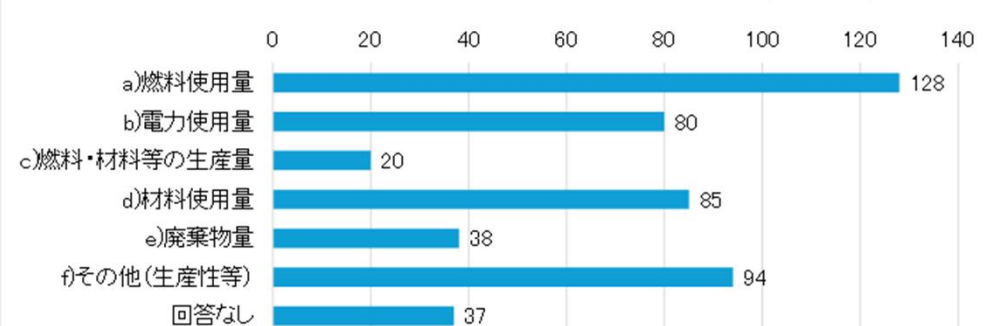


○低炭素化・脱炭素化技術の活動量の設定方法

- ⇒建設機械の稼働や材料製造等、幅広い対象の活動量の算定に適用されており、「燃料使用量」が多かった。

当該の脱炭素化・低炭素化技術の活動量は何の数量を対象にしているか

[件数,複数回答,N=482/335]

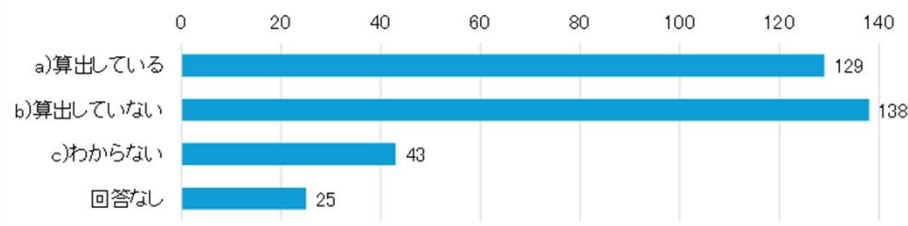


○低炭素化・脱炭素化技術のCO2排出量の定量的な算出

- ⇒「算出している」と「算定していない」の回答数が同程度であった。

当該の脱炭素化・低炭素化技術のCO2排出量を定量的に算出しているか

[件数,単一回答,N=335]



○低炭素化・脱炭素化技術の排出原単位の設定方法

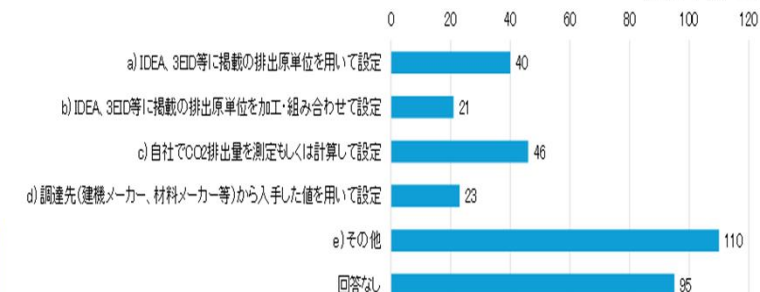
- ⇒「その他」を除くと、「自社算定」が多かった。
⇒「IDEA、3EID等に掲載の排出原単位を用いて設定」もほぼ同数で多かった。

○第三者認証の有無

- ⇒第三者認証を取得している技術は少なかった(8件)＝うち、EPD取得は4件

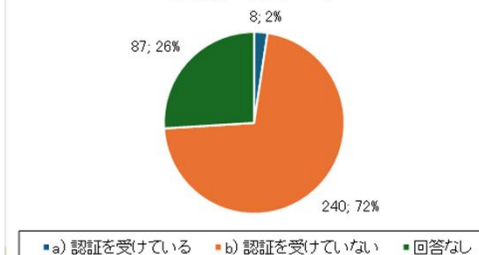
当該の脱炭素化・低炭素化技術は排出原単位をどのように設定したか

[件数,単一回答,N=335]



排出原単位はCPFR-PCR等の第三者認証を受けているか

[件数,単一回答,N=335]



【R6年度】建設分野における脱炭素技術のアンケート調査結果②

○低炭素化・脱炭素化技術に置き換わる標準的な技術・工法等の活動量設定方法

⇒「自社の実数量」と「回答なし」が多かった。

○低炭素化・脱炭素化技術に置き換わる標準的な技術・工法の排出原単位設定方法

⇒「公表データベースの掲載値」と「回答なし」が多かった。

ともに「回答なし」が多いのは、削減効果や低炭素化・脱炭素化技術との比較について、定量的な評価手法が確立されていないためと推測される。

